

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2012年4月10日設定）	
運用方針	カナダ債券マザーファンド受益証券への投資を通じてカナダドル建ての債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーフンド	カナダ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	カナダドル建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

Navio カナダ債券ファンド



第42期（決算日：2015年10月19日）
 第43期（決算日：2015年11月18日）
 第44期（決算日：2015年12月18日）
 第45期（決算日：2016年1月18日）
 第46期（決算日：2016年2月18日）
 第47期（決算日：2016年3月18日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「Navio カナダ債券ファンド」は、去る3月18日に第47期の決算を行いましたので、法令に基づいて第42期～第47期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号
 URL:<http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル **TEL. 0120-151034**
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

Navio カナダ債券ファンドのご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	8
◇利害関係人との取引状況等	9
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	9
◇組入資産の明細	9
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	10
◇損益の状況	11
◇分配金のお知らせ	12
◇お知らせ	12

マザーファンドのご報告

◇カナダ債券マザーファンド	13
---------------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				(参 考 指 数) シティ世界国債 インデックス カナダ		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 期 騰 落	中 率 率	(円ベース)	期 騰 落 率			
	円		円	%		%	%	%	百万円
18期(2013年10月18日)	11,364		5	0.2	485.51	△0.3	97.8	—	236
19期(2013年11月18日)	11,475		5	1.0	491.28	1.2	97.3	—	239
20期(2013年12月18日)	11,549		5	0.7	495.84	0.9	96.6	—	243
21期(2014年1月20日)	11,419		5	△1.1	492.19	△0.7	97.6	—	242
22期(2014年2月18日)	11,244		5	△1.5	481.75	△2.1	96.6	—	239
23期(2014年3月18日)	11,166		5	△0.6	480.23	△0.3	97.6	—	238
24期(2014年4月18日)	11,272		5	1.0	486.22	1.2	96.5	—	240
25期(2014年5月19日)	11,421		5	1.4	492.47	1.3	96.7	—	243
26期(2014年6月18日)	11,455		5	0.3	496.26	0.8	96.4	—	244
27期(2014年7月18日)	11,574		5	1.1	502.53	1.3	96.6	—	246
28期(2014年8月18日)	11,651		5	0.7	503.68	0.2	97.9	—	247
29期(2014年9月18日)	12,071		5	3.6	521.37	3.5	97.5	—	257
30期(2014年10月20日)	11,820		5	△2.0	513.44	△1.5	97.2	—	252
31期(2014年11月18日)	12,775		5	8.1	554.78	8.1	97.3	—	272
32期(2014年12月18日)	12,837		5	0.5	551.15	△0.7	97.6	—	271
33期(2015年1月19日)	12,559		5	△2.1	547.55	△0.7	96.7	—	261
34期(2015年2月18日)	12,405		5	△1.2	537.81	△1.8	96.5	—	258
35期(2015年3月18日)	12,282		5	△1.0	536.02	△0.3	96.1	—	257
36期(2015年4月20日)	12,613		5	2.7	550.75	2.7	96.3	—	264
37期(2015年5月18日)	12,603		5	△0.0	551.82	0.2	95.6	—	266
38期(2015年6月18日)	12,735		5	1.1	559.79	1.4	95.5	—	268
39期(2015年7月21日)	12,246		5	△3.8	537.92	△3.9	95.7	—	257
40期(2015年8月18日)	12,287		5	0.4	539.46	0.3	98.1	—	259
41期(2015年9月18日)	11,596		5	△5.6	514.57	△4.6	97.4	—	245
42期(2015年10月19日)	11,789		5	1.7	519.77	1.0	97.5	—	249
43期(2015年11月18日)	11,718		5	△0.6	518.10	△0.3	97.4	—	247
44期(2015年12月18日)	11,273		5	△3.8	498.61	△3.8	97.3	—	237
45期(2016年1月18日)	10,483		5	△7.0	465.15	△6.7	97.0	—	223
46期(2016年2月18日)	10,850		5	3.5	480.30	3.3	96.9	—	231
47期(2016年3月18日)	11,073		5	2.1	490.44	2.1	96.4	—	236

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) シティ世界国債インデックス カナダ (円ベース) はシティ世界国債インデックス (円ベース) のサブインデックスです。

シティ世界国債インデックス (円ベース) は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) シ テ イ 世 界 国 債 インデックス カナダ (円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率		騰 落 率		
第42期	(期 首) 2015年 9 月18日	円 11,596	% —	514.57	% —	% 97.4	% —
	9 月末	11,461	△1.2	505.58	△1.7	97.4	—
	(期 末) 2015年10月19日	11,794	1.7	519.77	1.0	97.5	—
第43期	(期 首) 2015年10月19日	11,789	—	519.77	—	97.5	—
	10月末	11,689	△0.8	515.68	△0.8	97.4	—
	(期 末) 2015年11月18日	11,723	△0.6	518.10	△0.3	97.4	—
第44期	(期 首) 2015年11月18日	11,718	—	518.10	—	97.4	—
	11月末	11,674	△0.4	515.74	△0.5	97.5	—
	(期 末) 2015年12月18日	11,278	△3.8	498.61	△3.8	97.3	—
第45期	(期 首) 2015年12月18日	11,273	—	498.61	—	97.3	—
	12月末	11,205	△0.6	493.68	△1.0	97.3	—
	(期 末) 2016年 1 月18日	10,488	△7.0	465.15	△6.7	97.0	—
第46期	(期 首) 2016年 1 月18日	10,483	—	465.15	—	97.0	—
	1 月末	11,170	6.6	483.15	3.9	97.0	—
	(期 末) 2016年 2 月18日	10,855	3.5	480.30	3.3	96.9	—
第47期	(期 首) 2016年 2 月18日	10,850	—	480.30	—	96.9	—
	2 月末	10,915	0.6	484.16	0.8	96.9	—
	(期 末) 2016年 3 月18日	11,078	2.1	490.44	2.1	96.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

(第42期～第47期：2015/9/19～2016/3/18)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ4.3%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

下落要因

カナダドルが対円で下落したことが基準価額の主なマイナス要因となりました。

投資環境について

(第42期～第47期：2015/9/19～2016/3/18)

債券市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎債券市況

- ・原油価格が下落したことや世界的に株式市況が軟調に推移したことなどから、2016年2月中旬にかけて、カナダ金利は低下（債券価格は上昇）しました。その後は、商品市況の上昇などを背景に、カナダ銀行（中央銀行）による利下げ観測が後退したことや、期待インフレが上昇したことなどからカナダ金利は反発し、当作成期首と比較すると短期ゾーンは小幅上昇、中長期ゾーンは低下して終わりました。

◎為替市況

- ・原油価格の低迷が続いたことや世界的に株価が下落する中で逃避通貨として円が選好されたことなどから、カナダドルは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜N a v i o カナダ債券ファンド＞

- ・当ファンドはカナダ債券マザーファンド受益証券への投資を通じてカナダドル建ての債券を高位に組み入れた運用を行いました。

＜カナダ債券マザーファンド＞

基準価額は当作成期首に比べ3.7%の下落となりました。

- ・カナダドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、当作成期を通じて、債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・ファンドのデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、原油価格の低迷や国内のインフレ動向の落ち着きなどを背景にカナダ銀行が緩和的な金融政策を維持すると想定する中、米国金利の影響を受けてカナダ金利も上昇しましたが、カナダ金利の上昇余地は乏しいと判断し、2015年11月中旬に参考指数比中立から長めに変更しました。その後、利下げ観測を織り込む形でカナダ金利は低下しましたが、カナダ金利の低下余地は乏しいと判断し、2016年1月中旬に参考指数比長めから中立に変更し、当作成期末まで維持しました。
- ・カナダ国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を考慮し、ポートフォリオの利回り向上を狙い、政府機関債の組み入れを維持しました。
- ・前記の運用の結果、債券の利子収益を獲得したことは基準価額にプラスに寄与しましたが、カナダドルが対円で下落したことなどが基準価額にマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション

作成期首（2015年9月18日）

最終利回り	1.3%
直接利回り	2.0%
デュレーション	7.1年

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮していません）。
- ・最終利回りは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

作成期末（2016年3月18日）

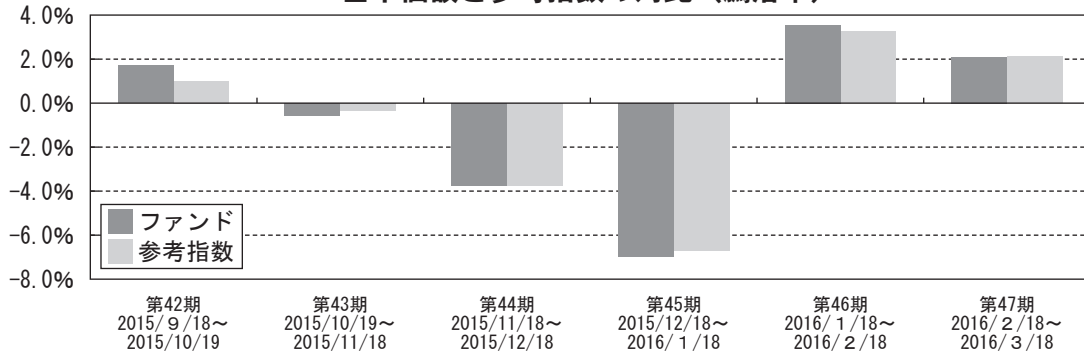
最終利回り	1.3%
直接利回り	2.1%
デュレーション	7.1年

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮していません）。
- ・最終利回りは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

(第42期～第47期：2015/9/19～2016/3/18)

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はシティ世界国債インデックス カナダ（円ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年9月19日～ 2015年10月19日	2015年10月20日～ 2015年11月18日	2015年11月19日～ 2015年12月18日	2015年12月19日～ 2016年1月18日	2016年1月19日～ 2016年2月18日	2016年2月19日～ 2016年3月18日
当期分配金	5	5	5	5	5	5
（対基準価額比率）	0.042%	0.043%	0.044%	0.048%	0.046%	0.045%
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,008	3,011	3,015	3,018	3,031	3,044

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

＜N a v i o カナダ債券ファンド＞

◎今後の運用方針

- ・カナダ債券マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

＜カナダ債券マザーファンド＞

◎運用環境の見通し

- ・カナダでは原油価格に反発の兆しは見られるものの、国内のインフレ動向が落ち着いており、カナダ銀行が緩和的な金融政策を維持するとの見込みから、カナダ金利はもみ合う展開を想定します。
- ・為替については、本邦における物価安定の目標の実現に向けたさらなる追加緩和観測などから、円相場は緩やかな下落期待が維持されそうです。一方、カナダの成長期待が高まらない場合は、カナダドルは対円でレンジ内の動きとなる展開も想定します。

◎今後の運用方針

（組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを維持する方針です。

（種別構成）

- ・国債に対する相対的なスプレッド動向に注視しつつ、当面は現状の投資比率を維持する方針です。

（デュレーション）

- ・カナダの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年9月19日～2016年3月18日)

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 67	% 0.591	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(32)	(0.285)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.285)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.022	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.020)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	70	0.613	
作成期中の平均基準価額は、11,352円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2015年9月19日～2016年3月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第42期～第47期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
カナダ債券マザーファンド	千口 3,077	千円 3,677	千口 3,292	千円 4,035

○利害関係人との取引状況等

(2015年9月19日～2016年3月18日)

利害関係人との取引状況

<N a v i o カナダ債券ファンド>

該当事項はございません。

<カナダ債券マザーファンド>

区 分	第42期～第47期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 2	百万円 2	% 100.0	百万円 3	百万円 2	% 66.7

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 200	百万円 —	百万円 —	百万円 200	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2016年3月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第41期末	第47期末	
	口 数	口 数	評 価 額
カナダ債券マザーファンド	千口 199,263	千口 199,047	千円 235,533

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年3月18日現在)

項 目	第47期末	
	評 価 額	比 率
カナダ債券マザーファンド	千円 235,533	% 99.6
コール・ローン等、その他	895	0.4
投資信託財産総額	236,428	100.0

(注) カナダ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（234,382千円）の投資信託財産総額（235,646千円）に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 カナダドル＝85.54円			
----------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
	2015年10月19日現在	2015年11月18日現在	2015年12月18日現在	2016年1月18日現在	2016年2月18日現在	2016年3月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	249,704,770	248,311,199	237,473,968	223,677,514	231,611,596	236,428,640
コール・ローン等	829,327	813,532	801,805	768,582	759,929	781,410
カナダ債券マザーファンド(評価額)	248,758,777	247,363,854	236,549,335	222,796,673	230,707,258	235,533,480
未収入金	116,665	133,812	122,827	112,258	144,409	113,750
未収利息	1	1	1	1	—	—
(B) 負債	354,826	347,966	344,021	343,319	340,532	326,428
未払収益分配金	105,759	105,808	105,171	106,523	106,578	106,614
未払解約金	—	6	3	6	—	—
未払信託報酬	248,128	241,245	237,950	235,897	233,076	218,988
その他未払費用	939	907	897	893	878	826
(C) 純資産総額(A－B)	249,349,944	247,963,233	237,129,947	223,334,195	231,271,064	236,102,212
元本	211,519,326	211,617,673	210,342,988	213,047,633	213,157,036	213,229,716
次期繰越損益金	37,830,618	36,345,560	26,786,959	10,286,562	18,114,028	22,872,496
(D) 受益権総口数	211,519,326口	211,617,673口	210,342,988口	213,047,633口	213,157,036口	213,229,716口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,789円	11,718円	11,273円	10,483円	10,850円	11,073円

○損益の状況

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年9月19日～ 2015年10月19日	2015年10月20日～ 2015年11月18日	2015年11月19日～ 2015年12月18日	2015年12月19日～ 2016年1月18日	2016年1月19日～ 2016年2月18日	2016年2月19日～ 2016年3月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	33	29	31	21	16	1
受取利息	33	29	31	21	16	1
(B) 有価証券売買損益	4,417,952	△ 1,153,978	△ 8,984,540	△ 16,486,342	8,160,215	5,078,528
売買益	4,462,413	1	425	31	8,161,200	5,118,573
売買損	△ 44,461	△ 1,153,979	△ 8,984,965	△ 16,486,373	△ 985	△ 40,045
(C) 信託報酬等	△ 249,067	△ 242,152	△ 238,847	△ 236,790	△ 233,954	△ 219,814
(D) 当期損益金 (A + B + C)	4,168,918	△ 1,396,101	△ 9,223,356	△ 16,723,111	7,926,277	4,858,715
(E) 前期繰越損益金	29,375,332	33,438,491	31,663,033	22,334,066	5,504,434	13,324,133
(F) 追加信託差損益金	4,392,127	4,408,978	4,452,453	4,782,130	4,789,895	4,796,262
(配当等相当額)	(6,414,641)	(6,444,343)	(6,551,230)	(7,368,530)	(7,403,665)	(7,425,779)
(売買損益相当額)	(△ 2,022,514)	(△ 2,035,365)	(△ 2,098,777)	(△ 2,586,400)	(△ 2,613,770)	(△ 2,629,517)
(G) 計 (D + E + F)	37,936,377	36,451,368	26,892,130	10,393,085	18,220,606	22,979,110
(H) 収益分配金	△ 105,759	△ 105,808	△ 105,171	△ 106,523	△ 106,578	△ 106,614
次期繰越損益金 (G + H)	37,830,618	36,345,560	26,786,959	10,286,562	18,114,028	22,872,496
追加信託差損益金	4,392,127	4,408,978	4,452,453	4,782,130	4,789,895	4,796,262
(配当等相当額)	(6,414,750)	(6,444,424)	(6,551,838)	(7,370,642)	(7,403,744)	(7,425,839)
(売買損益相当額)	(△ 2,022,623)	(△ 2,035,446)	(△ 2,099,385)	(△ 2,588,512)	(△ 2,613,849)	(△ 2,629,577)
分配準備積立金	57,218,801	57,289,475	56,873,852	56,934,522	57,219,451	57,482,931
繰越損益金	△ 23,780,310	△ 25,352,893	△ 34,539,346	△ 51,430,090	△ 43,895,318	△ 39,406,697

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 211,660,874円
 作成期中追加設定元本額 3,644,145円
 作成期中一部解約元本額 2,075,303円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.1073円です。

② 分配金の計算過程

項 目	2015年9月19日～ 2015年10月19日	2015年10月20日～ 2015年11月18日	2015年11月19日～ 2015年12月18日	2015年12月19日～ 2016年1月18日	2016年1月19日～ 2016年2月18日	2016年2月19日～ 2016年3月18日
費用控除後の配当等収益額	402,862円	176,482円	180,254円	168,315円	391,507円	370,094円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	6,414,750円	6,444,424円	6,551,838円	7,370,642円	7,403,744円	7,425,839円
分配準備積立金額	56,921,698円	57,218,801円	56,798,769円	56,872,730円	56,934,522円	57,219,451円
当ファンドの分配対象収益額	63,739,310円	63,839,707円	63,530,861円	64,411,687円	64,729,773円	65,015,384円
1万口当たり収益分配対象額	3,013円	3,016円	3,020円	3,023円	3,036円	3,049円
1万口当たり分配金額	5円	5円	5円	5円	5円	5円
収益分配金金額	105,759円	105,808円	105,171円	106,523円	106,578円	106,614円

○分配金のお知らせ

	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
1 万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※少額投資非課税制度「愛称：N I S A（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱ＵＦＪ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

カナダ債券マザーファンド

《第4期》決算日2016年3月18日

[計算期間：2015年3月19日～2016年3月18日]

「カナダ債券マザーファンド」は、3月18日に第4期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主としてカナダドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。投資にあたっては、カナダの国債、政府機関債、州政府債、政府保証債ならびにカナダドル建ての国際機関債等に投資を行います。金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	カナダドル建ての債券を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(参 考 指 数) シ テ ィ 世 界 国 債 インデックス カナダ (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
(設定日)	円	%		%	%	%	百万円
2012年4月10日	10,000	—	414.34	—	—	—	199
1期(2013年3月18日)	11,537	15.4	484.68	17.0	95.9	—	231
2期(2014年3月18日)	11,534	△ 0.0	480.23	△ 0.9	97.8	—	238
3期(2015年3月18日)	12,906	11.9	536.02	11.6	96.4	—	256
4期(2016年3月18日)	11,833	△ 8.3	490.44	△ 8.5	96.7	—	235

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) シティ世界国債インデックス カナダ (円ベース) はシティ世界国債インデックス (円ベース) のサブインデックスです。
シティ世界国債インデックス (円ベース) は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) シ テ イ 世 界 国 債 インデックス カナダ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	(円 ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2015年 3月18日	円 12,906	% —	536.02	% —	% 96.4	% —
3 月 末	12,943	0.3	535.40	△0.1	96.1	—
4 月 末	13,320	3.2	556.01	3.7	96.7	—
5 月 末	13,378	3.7	554.49	3.4	96.0	—
6 月 末	13,202	2.3	551.01	2.8	96.1	—
7 月 末	12,968	0.5	538.59	0.5	98.4	—
8 月 末	12,456	△3.5	517.01	△3.5	97.7	—
9 月 末	12,149	△5.9	505.58	△5.7	97.6	—
10 月 末	12,409	△3.9	515.68	△3.8	97.6	—
11 月 末	12,411	△3.8	515.74	△3.8	97.7	—
12 月 末	11,927	△7.6	493.68	△7.9	97.5	—
2016年 1 月 末	11,907	△7.7	483.15	△9.9	97.2	—
2 月 末	11,652	△9.7	484.16	△9.7	97.1	—
(期 末) 2016年 3月18日	11,833	△8.3	490.44	△8.5	96.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

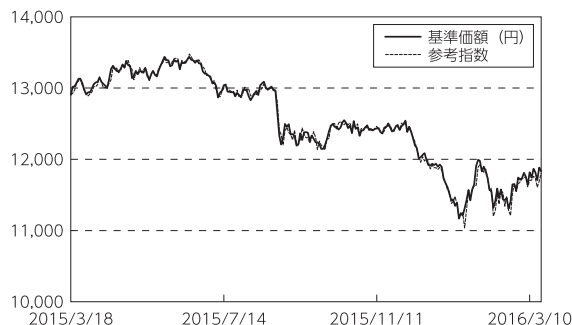
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ8.3%の下落となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎債券市況

・カナダ金利は、原油価格が上昇したことや米国の2015年内の利上げ観測の高まりなどから、6月にかけて上昇(債券価格は下落)しましたが、その後は、カナダ銀行(中央銀行)が7月に政策金利を引き下げたことや、原油価格が下落に転じたことなどから低下基調となりました。2016年2月中旬以降、商品市況の上昇などを背景に、カナダ銀行による利下げ観測が後退したことや、期待インフレが上昇したことなどから金利は反発しましたが、期首と比較すると低下して終わりました。

◎為替市況

- ・原油価格の低迷が続いたことや世界的に株価が下落する中で逃避通貨として円が選好されたことなどから、カナダドルは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・カナダドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、期を通じて、債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・ファンドのデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、期首は参考指数比長めとしていましたが、カナダの景気指標が強弱混在しており、金利の方向感に欠けると判断したことから、2015年6月中旬に参考指数比中立に変更しました。その後、原油価格の低迷や国内のインフレ動向の落ち着きなどを背景にカナダ銀行が緩和的な金融政策を維持すると想定する中、米国金利の影響を受けてカナダ金利も上昇しましたが、カナダ金利の上昇余地は乏しいと判断し、11月中旬に参考指数比長めに変更しました。その後、利下げ観測を織り込む形でカナダ金利は低下しましたが、カナダ金利の低下余地は乏しいと判断し、2016年1月中旬に参考指数比中立に変更し、期末まで維持しました。
- ・カナダ国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を考慮し、ポートフォリオの利回り向上を狙い、2015年6月中旬から政府機関債の組み入れを開始しました。
- ・前記の運用の結果、債券の利子収益を獲得したことは基準価額にプラスに寄与しましたが、カナダドルが対円で下落したことなどが基準価額にマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・カナダでは原油価格に反発の兆しは見られるものの、国内のインフレ動向が落ち着いており、カナダ銀行が緩和的な金融政策を維持するとの見込みから、カナダ金利はもみ合う展開を想定します。
- ・為替については、本邦における物価安定の目標の実現に向けたさらなる追加緩和観測などから、円相場は緩やかな下落期待が維持されそうです。一方、カナダの成長期待が高まらない場合は、カナダドルは対円でレンジ内の動きとなる展開も想定します。

◎今後の運用方針

（組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを維持する方針です。

（種別構成）

- ・国債に対する相対的なスプレッド動向に注視しつつ、当面は現状の投資比率を維持する方針です。

（デュレーション）

- ・カナダの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年3月19日～2016年3月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 5	% 0.041	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.037)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	5	0.041	
期中の平均基準価額は、12,560円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年3月19日～2016年3月18日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	カナダ		千カナダドル	千カナダドル
		国債証券	987	1,801
		特殊債券	1,485	604

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2015年3月19日～2016年3月18日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 6	百万円 5	% 83.3	百万円 5	百万円 4	% 80.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年3月18日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千カナダドル	千カナダドル	千円	%	%	%	%	%
カナダ	2,380	2,661	227,707	96.7	—	48.2	24.2	24.3
合 計	2,380	2,661	227,707	96.7	—	48.2	24.2	24.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
カナダ			%	千カナダドル	千カナダドル	千円	
	国債証券	1.5 CAN GOVT 170901	1.5	660	669	57,243	2017/9/1
		1.75 CAN GOVT 190901	1.75	250	260	22,242	2019/9/1
		2.75 CANADA GOVER 641201	2.75	20	24	2,079	2064/12/1
		3.5 CAN GOVT 451201	3.5	100	131	11,252	2045/12/1
		4 CAN GOVT 410601	4.0	100	137	11,744	2041/6/1
		5.75 CAN GOVT 290601	5.75	200	296	25,340	2029/6/1
		5.75 CAN GOVT 330601	5.75	150	233	20,000	2033/6/1
	特殊債券	1.45 CANADA HOUSI 200615	1.45	400	406	34,801	2020/6/15
		1.95 CANADA HOUSI 251215	1.95	500	502	43,002	2025/12/15
		合 計					227,707

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2016年3月18日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	227,707	96.6
コール・ローン等、その他	7,939	3.4
投資信託財産総額	235,646	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(234,382千円)の投資信託財産総額(235,646千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1カナダドル=85.54円		
---------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年3月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	235,646,396
コール・ローン等	6,827,136
公社債(評価額)	227,707,034
未収利息	1,037,033
前払費用	75,193
(B) 負債	113,750
未払解約金	113,750
(C) 純資産総額(A－B)	235,532,646
元本	199,047,985
次期繰越損益金	36,484,661
(D) 受益権総口数	199,047,985口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,833円

<注記事項>

- ①期首元本額 198,837,532円
 期中追加設定元本額 6,674,610円
 期中一部解約元本額 6,464,157円
 また、1口当たり純資産額は、期末11,833円です。

- ②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

N a v i o カナダ債券ファンド 199,047,985円

○損益の状況 (2015年3月19日～2016年3月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,879,922
受取利息	4,879,922
(B) 有価証券売買損益	△26,047,986
売買益	2,675,687
売買損	△28,723,673
(C) 保管費用等	△ 103,557
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△21,271,621
(E) 前期繰越損益金	57,789,833
(F) 追加信託差損益金	1,703,924
(G) 解約差損益金	△ 1,737,475
(H) 計(D＋E＋F＋G)	36,484,661
次期繰越損益金(H)	36,484,661

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

[お 知 ら せ]

2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
 (2015年7月1日)